

第2回湖西市下水道事業経営戦略検討会 議事録

- 日時：令和3年（2021年）2月15日（月） 9：30～11：00
- 場所：湖西浄化センター 2階会議室（事務局以外はZOOMによる参加）
- 出席委員等：（五十音順、敬称略）
菊地裕幸委員（委員長）、今瀬彰夫委員、猪井英典委員（副委員長）
【全3委員、出席3委員、欠席0委員】
事務局：川上部長、片山課長、廣川課長代理、高田係長、大塚主任、池田主任、
日恵野主任

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事事項
- 4 閉会

事務局より「議事事項（1）前回の資料の修正の説明

質疑なし

事務局より「議事事項（2）下水道事業の将来推計及び現状での財政シミュレーション結果

質疑①建設改良費について

・資料P.24：建設改良費の処理場増設費を見込んでいるが、3池目と4池目の時期を見比べると4池目の際の費用が小さい要因は？<委員>

→3池目の増設時に4池目分の建物（水処理棟）の増設も一緒に行うため、その費用も含まれているためである。<事務局>

質疑②投資・財政計画 修正部分について

・資料P.29：資料の修正について、その差額をみると3,100万円/年であり、職員給与費の部分ということでよいか。<委員>

→資本的収入の他会計出資金と他会計補助金（職員給与費）は基準外繰入金となるが、他会計繰入金の集計に、他会計補助金を見込まず集計をしていたため、修正をさせて頂いた。<事務局>

質疑③投資財政計画 高度処理費の考え方について

・資料P.29：資本的収支の基準内繰入金が「0円」になっている。自身の認識だと高度処理費は基準内繰入金ではないか？<委員>

→高度処理費は収益的収支の基準内繰入金で全て見込んでいる。<事務局>

→それは、企業会計になったために基準が変わったということか。<委員>

→そうである。<事務局>

質疑④投資財政計画 企業債利息について

・資料 P. 28～29：企業債残高は増加傾向にあるが支払利息は減少傾向にあるのは、過去の利息は大きかったが、現在の利息が小さくなっていることが要因か。＜委員＞

→元金は一定額を償還しているが、支払利息は均等ではなく元金の償還に合わせて年々少なくなっているため徐々に少なくなっている。＜事務局＞

→プラスアルファで利息が小さくなっているということか。＜委員＞

→そうである。＜事務局＞

事務局より「議事事項（3）財政シミュレーションの見直しの説明

質疑①改善案について

・3つのシミュレーションから、事務局として改善案1を目指すというのは、妥当な考え方だと思う。しかし、使用料を上げるということと並行して、コストを抑える、使用料収入をあげるには、他の手段も考えられる。建設費や維持管理費を効率的にする、水洗化率の向上を図る等の地道な努力も必要であると考え。＜委員＞

→P. 20 に経営方針を基に、市民への理解を深めること（水洗化率向上）やストックマネジメント計画等により経費を抑えながら事業を行うことを検討していく。＜事務局＞

・まだ整備を行っている段階であり過度な使用料単価の増加は良くない、また、企業努力といったところも考慮すると改善案1が良いと思う。しかし、今後この経営戦略を使いながら3～5年間毎に見直しを行っていくと思うが、単年度でみると資本的支出の企業債償還金の負担が多い。処理区域内人口の実態から、施設の規模感、時期等の計画の見直し等も行い、投資・財源の負担も考慮していればより良いと考える。＜委員＞

→使用料単価の増加に対しては、市民への説明等を丁寧に行い、徐々に上げていけばと考えている。企業債償還金については、かなり増えていることは実感している。資本費平準化債の利用やコストの見直し等行っていく。＜事務局＞

質疑②使用料改定年度について

・P. 30 改定時期が令和6年度となっているが、その意図について教えていただきたい。＜委員＞

→使用料改定の検討を約5年に1度行うこととされており、前回の使用料改定が令和元年度であることより令和6年とした。＜事務局＞

→使用料を改定することはいたしかたない。その中で住民の負担が大きくなるように、改善案1としたことは妥当である。しかしながら、インフラの老朽化は下水道だけでなく水道でも起こり、また税金や社会保険料等、個々は小さくても積み上げれば市民の負担はどんどん大きくなる。そのあたりについてもうまくバランスをとりながら対応していればより良いと考える。

また、コロナ禍で市民生活は厳しくなっているため考慮する必要があると考えるが、世代間公平の考え方から、あまり現在の課題を先送りするのも良くない。料金改定時期についてもバランスを取って考えていただきたい。＜委員＞

事務局より「議事事項（４）経営戦略の事後検証の説明

質疑なし

全体を通してご意見・ご質問

・下水道事業の実態は自治体によってかなり差がある。湖西の場合は、これからまた新設もあり、維持管理も行っていかなければならない、下水道としては後発部隊であり非常に厳しい。市だけの努力のみでは解決出来ないが、全国的に下水道事業を見ていただけるようになればより良いと思う。またそういった現状を市民にもご理解いただきながら料金改定を説明していければ良い。
<委員>

・東海の他団体の経営戦略を見させていただいているが、湖西市と同様で過去の投資と開発（新規建設）もしていかなければならないという状況である。これから住民と市の職員が一体となって使用料についてどう考えていくか、対話することが重要である。<委員>

・委員さんのご意見を事務局でもこの経営戦略に盛り込み、また、今後の下水道経営に生かしていただきたい。<委員>

4 閉会あいさつ

・2/18 よりパブリックコメントを予定している。本日頂いた意見等、修正が必要な箇所は修正を行う。

・第3回の日程は令和3年3月25日（木）14：00～を予定している。